

私立大学図書館協会西地区部会東海地協議会
平成 14 (2002) 年度第 4 回相互協力委員会議事録

日 時 : 2002 年 9 月 25 日 (水) 午前 10 時~午後 5 時
場 所 : 愛知大学図書館 AIT プラザ 3 階会議室
出席者 : 長坂功 (愛知大学) 足立祐輔 (愛知学院大学) 加藤直美 (愛知工業大学)
中上恵子 (愛知みずほ大学) 酒井麻里 (金城学院大学) 松永ひとみ (鈴鹿医療科学技術大学)
小川光男 (中京大学) 疋田幸世 (中部学院大学) 加藤富美 (南山大学) 石川宗臣 (日本福祉大学)

計 10 名

記 録 : 足立祐輔 (愛知学院大学)

【協議事項】

1. 実務担当者研修会会計決算について
 - ・ 委員長より資料に基づき説明があり、了承された。
 - 収入、817,000 円 支出、768,028 円 残高、48,972 円
 - なお、残高より実務担当者研修会報告書の印刷・製本・発送費を支出する。
2. 実務担当研修会記録について
 - ・ 全体会記録については完了済み、分科会記録については各記録担当者が 11 月中に完成することとする。
 - ・ 記録については、館灯用、報告用と別々にしても良いし共通でも可とする。
 - ・ 各加盟館への報告書については、どこまで報告する必要があるのか、今後検討することも必要ではないかという問題提議があった。
 - ・ 全体会記録については、一部追加および修正等あったが、概ね了承された。
3. 実務担当者研修会の反省点および感想 (委員から見た) について
 - ・ プログラム、内容、施設等は概ね良かったという意見が多数であった。
 - ・ 事前準備については、今回、全般的に準備不足だったという指摘があった。
 - ・ 委員長の委員会活動報告は初日に実施したほうが良かった。
 - ・ 参加のパターン (宿泊・日帰り等) については、今後、十分検討する必要がある。
4. データベース共同トライアルについて
 - ・ 7 月末に各大学へ案内を送付済。トライアルは原則 11 月末までとする (9/17-11/30 の期間)。
 - ・ 参加予定、本日現在で 23 大学。
 - ・ トライアル後、委員会としてどのように対応するか再度確認し、先回協議した通り合同説明会を開催することで了承された。日程については 11 月上旬で調整する。
 - ・ NOL の新参加について了承された。

5. OPAC 横断検索/相互貸借物流に関する調査について
 - ・ 調査項目の(1)～(4)については研修会で報告済み。
 - ・ 事務責任者会議で問題提議として、調査の結果を報告してはどうかということで一致した。
 - ・ 館灯に掲載することについて、理事校、常任幹事に了解をとることが必要ではないかという意見あり。
 6. その他
 - ・ 東海地区協議会のホームページについては、近日中に私立大学図書館協会のサーバーに移行する予定。
 - ・ 大学図書館一般開放の状況一覧ページについては、特に問題がなければ地区協議会のホームページ上にアップする。
 - ・ リンクデータベースの取り扱いについては、情報化委員会との合同委員会で話し合う。
 - ・ NACSIS-ILL 料金相殺ユーザー会については、東海地区加盟館各館の諸事情から鑑み、参加は現時点では難しいということになった。
 - ・ レファレンスコンソーシアムについては、本委員会の継続事業とすることを確認した。
- なお、次回合同委員会の日程は平成15年2月28日(金)または3月7日(金)の予定。

これより合同委員会記録

2002年度第2回相互協力委員会・情報化委員会合同委員会

1. 委員交替の報告および新委員紹介

- ・ 情報化委員 津田朋美委員(愛知工業大学)から有田哲治委員(同)に交替
- ・ 相互協力委員 浜野五鈴委員(鈴鹿医療科学大学)から松永ひとみ委員(同)に交替

2. 合同委員会の記録について

- ・ 各委員会で別々に記録していたが、今後は委員会交代で記録することに変更。

3. 東海地区協議会ホームページについて

- ・ 笹山委員長より以下のような報告があり、質疑応答が行われた。

現在、私大図書館協会のHPはNIIの下にあるが、容量等の制限があり、有料のレンタルサーバーへ移行することになった。これに伴い東海地区のHPも現在のサーバーから移行することになった。10月～11月で実験利用開始。12月から本稼働の予定。西地区は東海地区が先行しているため、モデルケースとなる。現在のHPのファイルを移行した上で、維持・管理に問題がないか確認後、稼働する。本稼働後は、現在のHPからリンクを貼り、自動的に飛べるように設定する。今後の作業スケジュールとしては、担当委員が移行ファイル一覧を作成し、理事校を通して上部組織に申請する。維持・メンテナンス用にID・パスワードが付与されるが、担当者何人まで付与されるかは未定。また、地区加盟館に対しては、理事校からHPアドレス変更のお知らせ文書を出してもらおう、要請する。なお、相互協力便覧のWeb版の取り扱い、機能については当分の間、私大図

書館協会HP委員会では保留となっていることが報告された。

4. リンクデータベースについて

リンクデータベースの今後の取り扱いについて、両委員会の意見交換が行われた。

- ・ 相互協力委員会としては、図書館員が作成したという経緯も考慮し、維持していきたい。リンク切れに対しては担当を決めて対応する。更新方法については、両委員会で検討していきたい、との意見が報告された。
- ・ 情報化委員会としては、分担して積極的にデータを作成するなどの作業の拡大は負担が大きいと思われるため現状維持を基本にしていきたい。作成された情報は、有益なものであるので、利用し続けられるように、リンク切れについては、自動的にチェックできるようなプログラムを利用し修正する。また、両委員会委員が、追加・修正できるように設定を変更していきたいとの意見が報告された。

上記意見をふまえて、リンクデータベースの取り扱いに関しては、現段階では以下のように決定した。

- ・ 最低限の維持は委員会で行う。
- ・ リンク切れのチェック後に、リンク切れのサイトに対しては委員が分担して確認作業をする。
(リンク切れのチェックは情報化委員会の担当委員が11月末をめどに作業を行う。)

5. その他

- ・ 両委員長より今後の活動予定が報告された。主な報告は以下の通り。
 - * 相互協力委員会 ・データベース共同トライアルをHP上で実施中。期間は11月30日まで。
業者との合同説明会を11月5日～8日頃に開催する予定。場所は未定。
 - ・ OPAC 横断検索と物流について研修会で中間報告を行った。HP・館灯に掲載予定。
 - * 情報化委員会 ・10月31日(木)南山大学にてシステム・ネットワーク化情報交換会を開催。
・11月27日(水)～28日(木)見学会を開催。
見学場所 国立国会図書館関西館・京都大学・立命館大学
- ・ 次回合同委員会
2月28日(金) 鈴鹿医療科学大学にて開催予定。

以上